

医療費のサプライズビルに関する権利と保護

ネットワーク内の病院のネットワーク外の医療提供者や、外来外科センターで救急看護や治療を受けるのであれば、サプライズビリングやバランスビリングから身を守られています。

「バランスビリング」（「サプライズビリング」とも呼ばれる）とは？

医師やその他の医療提供者の診察を受けると、患者負担金、共同保険、または免責金額といった自己負担費用を一定額支払わなければならない場合があります。もし健康保険のネットワーク外の医療提供者の診察を受けたり、医療施設に行くと、他にも費用が発生したり、請求額を全額支払わなければならない場合があります。

「ネットワーク外」とは、あなたの健康保険と契約を結んでいない医療提供者や医療施設を指します。ネットワーク外の医療提供者は、あなたの健康保険が合意している支払額と治療に請求される全額の差額を請求することが容認されている場合があります。これを「バランスビリング」といいます。この金額はネットワーク内の同様の治療の費用よりも高額になると考えられます。また、1年間に支払う自己負担金の限度額には考慮されない可能性があります。

「サプライズビリング」とは予期せぬバランスビルのことです。これは、治療に誰が関わるのかあなたがコントロールできない場合に発生することがあります。たとえば緊急事態の時や、ネットワーク内の施設に行く予定だったのに、予期せずネットワーク外の医療提供者の治療を受けた場合です。

下記の場合にバランスビリングから身を守られています。

救急治療

もし救急の症状があり、ネットワーク外の医療提供者や医療施設の救急治療を受ける場合、医療提供者や医療施設が請求する可能性のある最高額は、健康保険のネットワーク内の費用共同負担の金額（患者負担金や共同保険など）となります。こういった救急治療でバランスビリングが発生することはありません。書面による同意をし、安定後の治療においてバランスビリングを受けないという補償を放棄する場合を除いて、こちらには容体が安定してから受ける可能性のある治療が含まれます。

ネットワーク内の病院や外来外科センターでの一部の治療

ネットワーク内の病院や外来外科センターで治療を受けると、その一部の医療提供者がネットワーク外となっている場合があります。こういった場合、ネットワーク外の医療提供者が請求する可能性のある最高額は、健康保険のネットワーク内の費用共同負担の金額となります。救急医療、麻酔、病理学、放射線学、研究、新生児学、准外科医、病院総合医、集中治療専門医による治療に適用されます。こういった医療提供者はあな

たにバランスビリングをすることができず、バランスビリングを受けないという補償を放棄するよう依頼してはいけません。

こういったネットワーク内の医療施設で他の治療を受ける場合、書面による同意をし、補償を放棄する場合を除いて、ネットワーク外の医療提供者はあなたにバランスビリングをすることができません。

バランスビリングに対する補償の放棄は絶対に要求されません。ネットワーク外の治療を受けるよう要求されることもありません。健康保険のネットワーク内で医療提供者や医療施設を選ぶことができます。

バランスビリングが許可されていない場合、下記の補償も受けることになります。

- 支払う責任が生じるのは、自己負担分（たとえば、医療提供者もしくは医療施設がネットワーク内の場合に支払うことになる患者負担金、共同保険、免責金額）のみです。健康保険はネットワーク外の医療提供者および医療施設に直接支払います。
- 一般的に健康保険とは：
- 事前に治療に対する承認を得ること（事前承諾）を要求することなく救急治療をカバーするはずです。
- ネットワーク外の医療提供者による救急治療をカバーするはずです。

- あなたが医療提供者や医療施設（費用共同負担）に支払わなければならない金額を、健康保険がネットワーク内の医療提供者や医療施設に支払う金額をベースに決め、給付金を説明する際にその金額を提示するはずです。
- 救急治療やネットワーク外の治療に支払ういかなる金額も、免責金額や自己負担金の限度額に考慮されるはずです。

誤って請求されたと思う場合は、1-877-430-8495もしくは1-513-636-4427に電話をかけて9を選択すれば、請求に関するカスタマーサービスに連絡することができます。

連邦法の下での権利に関する詳細は

<https://www.cincinnatichildrens.org/patients/resources/billing>（英語サイト）をご参照ください。